

進路だより

令和3年度 9月 22日
大牟田特別支援学校 キャリア教育・進路指導部
(小学部・中学部・高等部)

2学期が始まり3週間が経ちました。福岡県においては、緊急事態宣言が9月末まで延長となり、予断を許さない状況が続いています。高等部では、7月に個別の進路相談会(1・3年)、ハローワークの登録(3年希望者)が行われました。また、夏休みの間には、高等部2年生の就労アセスメント、高等部3年生の臨時現場実習も行われました。暑い中、またコロナ対策を講じながらの実習となりましたが、参加した生徒は大変頑張りました。今後につながるよい経験になったと思います。

今回の「進路だより」では、事業所紹介として、「くじらのせなか」を紹介します。地域には、障害をもった方が、生き生きと作業や活動に取り組んでいる福祉事業所が数多くあります。それぞれの事業所ごとに特長があり、よさがあります。進路先を決定する際は、子どもさんに合った事業所を見つけていくことが大切になります。福祉事業所の情報については、今後「進路だより」を通して紹介していきます。まだまだコロナ禍による制約はありますが、保護者の皆様も、お時間のある時に、可能な限り地域の事業所に足を運んでいただき、活動を見ていただければと思います。進路指導部では、進路相談、事業所に関するお問い合わせ、見学希望の斡旋など、随時、お気軽にご相談ください。

事業所紹介

生活介護事業所「くじらのせなか」

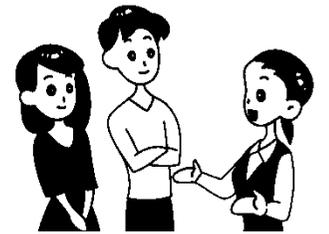
熊本県玉名郡長洲町清源寺418-1 ☎0968-78-6301

開設7年目の事業所です。生活介護と放課後等デイサービスがあります。生活介護事業は、まだ新しく、今年で3年目になります。

「くじらのせなか」の特色は、少人数のアットホームな環境で、それぞれののびのびと過ごしていること、自然の中で思いっきり体を動かす活動を取り入れていることです。毎朝のウォーキングでは、松原海岸やB&Gの遊歩道に行っています。夏には、事業所内に設置したビニールプールのほか、鍋田水遊び公園や、道の駅鹿北プール、嘉島の湧水公園天然プールなどに行き、水遊びを楽しんでいます。1年を通して、温泉にもよく行きます。月に1回の「外食デー」では、レストランで外食を楽しんでいます。そのほか、昼食クッキング、おやつクッキング、流しそうめん、事前におうちの方からオーダーを聞いての買い物学習、ボランティア清掃、野菜作りなど、様々な活動をしています。作業では、割りばしを袋に入れる作業や、エコバッグづくりに取り組んでいて、この取り組みは、先日熊本日日新聞にも紹介されました。様々に豊かな体験を通して、利用者一人ひとりの能力を育み、生活の質を高めていくことを目指しています。



卒業生の保護者へインタビュー



「サポートセンタ SUN☆フラワー」(生活介護)
「くじらのせなか」(生活介護)を利用

Q1 進路先を決めたのは、いつ頃でしたか？

A1 事業所側の定員の問題があり、最終的に決まったのは、3年生の秋頃です。

Q2. 現在、どういう利用の仕方をされていますか？

A2. 「SUN☆フラワー」と「くじらのせなか」さんを、週に3日ずつ利用しています。最初は、2ヶ所の事業所を利用するというので、本人が戸惑うのではないかと思いましたが、全くそういうことはなく、それぞれの場所に馴染み、毎日楽しく過ごさせてもらっています。くじらさんは、少人数ということで、アットホームな感じで細かいところまで気づいてもらっています。SUN☆フラワーさんは大人数なので、本人なりに違いは感じているみたいですが、お迎えのバス、車にもすんなり乗り込んでいます。コロナ禍で、恒例の行事がなかなかできない状況ですが、そんな中でも、本人たちが飽きないように施設内でも工夫していただいているようで、感謝しています。

Q3. 最近の子どもさんの様子はどうですか？

A3 先日20歳の誕生日を迎えました。卒業して1年半が過ぎましたが、おかげさまで、大きなケガ、病気もせず元気に通所しています。

障害者就業・生活支援センター「ほっとかん」

障害者就業・生活支援センターは、障害者の職業生活における自立を図るため、障害者の就業面及び生活面における支援を行い、障害者の雇用の促進及び安定を図ることを目的として、全国に設置されているものです。福岡県内には13のセンターがあり、「ほっとかん」は県南地域(大牟田市・柳川市・みやま市)を管轄しています。

「ほっとかん」では、障害のある方が一般企業に就職した際に、仕事や生活面の悩み相談にのったり、定期的に職場を訪問して、現場での作業の様子を見ながら、本人や企業の担当者に助言をしたりします。時には、企業と本人の間に入って、調整役をすることもあります。また、離職した際には、新たな就職先探しや就職支援もしています。

本校では、一般企業に就職する予定の生徒については、卒業後スムーズに職場に定着していけるよう、在学中から支援に入らせていただいています。たとえば、現場実習における巡回指導、反省会への同席などです。「ほっとかん」の担当者の方は、フットワークが軽く、何かあった時には、電話一本ですぐに現場に駆けつけてくださいます。一般企業に就職をする生徒や保護者にとっては、働き続けるうえで、大変心強い味方となってくれます。

*生活介護事業所における定員超過問題について

ここ数年、卒業後に生活介護事業所の利用を希望される方で、複数事業所の利用をされる方が増えていきます。理由のひとつとして、大牟田市近郊の生活介護事業所において、多くの施設において定員が超過しており、複数事業所の登録をお願いされるケースが多くなっていることがあげられます。特に医療的ケア対応の事業所は定員超過となっている事業所が多いようです。